

6日（金）から、『日本の自画像』展が始まりました。今回の展覧会は、愛知県美術館ではめずらしい、写真の展覧会です。ちなみに、当館初の写真展は2006年に開催した「愛知曼陀羅?東松照明の原風景」展です。



上の会場写真をみると、はらっぱ展の時のウキウキするような楽しげな雰囲気から、ガラリと替わり、しっとりとした落ち着いた雰囲気になっています。作品点数は、特集展示も合わせると236点もあり、写真作品以外にも今回の出品作家が当時出版していた写真集の初版本も数点展示されているので、かなり見ごたえがあると思います。展示室にあるイスで休憩しながらみるといいと思い、各所にイスを設置したので、ご活用下さいませ。



基本的に、企画展では一般公開に先駆けて、開会式を行い、関係者をお呼びして展示をご観覧いただく内覧会というものを実施しています。（過去の記事にも何回か登場していますね。）美術館関係者がたくさん集まるVIPな集まりです。もちろん自画像展でも開会式&内覧会を開催しました。当日は、テレビクルーがきての取材もありました。どこかのタイミングでテレビ放映されるかもしれません。ちなみに、テレビ愛知です。



開会式での1枚。

自画像展、始まって1週間ですが、会期が短いので（12月13日まで）、お早めにお越し下さい。今週末には、出品作家の田沼武能氏による記念講演会も開催されるので、ぜひご来場下さい。

（R K）